

事業戦略の構築と 戦略推進に向けた組織づくり

経営者の意向や社員らの声をもとに、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた商品戦略や販路開拓戦略を構築すると同時に、これらを推進していくための組織のあり方について客観的な視点から検討した。

▼
取り組み内容

Step 1
現状把握

会社の現状を把握するため、全社員へのアンケート調査、直営店の店長や本社の役職者へのヒアリングを実施。

Step 2
課題整理

Step1で把握した課題や改善要望などを中田社長に報告し、緊急度や重要度を見極め。

Step 3
戦略立案

Step2で見いだした方向性を基に、商品戦略や販路開拓戦略を立案し、中田社長とすり合わせ。

Step 4
組織の見直し

Step3で立てた戦略を推進するため、組織体制や人員の配置を検討。4月から具体的な取り組みを開始予定。

受入企業

株式会社 中田屋 代表取締役 中田 竜也 さん

1934年に石川県鶴来町（現在の白山市）で創業した老舗の和菓子製造会社。1946年に現在の東山店の場所に移転し、以来「きんつばと言えば中田屋」と呼ばれて親しまれ、県内を中心に全国12カ所の直営店で販売する。「真心を美味しさにかえて」を経営理念とし、連綿と受け継いできた伝統の製法を大切に日々取り組んでいる。

研究員

工藤 篤志 さん

埼玉県さいたま市で許認可取得や企業法務を主力とする行政書士事務所を経営。特に創業・起業、事業承継、小規模M&A、外国人関連について実績がある。また、公的支援機関において、創業担当のプロジェクトマネージャー、地域資源・農商工連携担当の地域活性化支援チームアドバイザー、農業の六次産業化プランナーなどを歴任。

共創型企業 人材展開プログラム 事例

CASE:

経営環境の変化に 対応するための 組織づくり



取り組みの成果
・
今後の取り組み

- ・ 書面による全社員アンケートや役職者へのヒアリングを通じて、会社の良いところや悪いところを把握した上で、商品展開や販路開拓において進むべき道筋が明らかになった。
- ・ 昔ながらの企業体質を改めるとともに、これからの時代にふさわしくすべての人材が能力を発揮して、活躍できるような職場環境づくりに向けての土台ができた。
- ・ 4月から具体的な取り組みを進め、創業100周年やその先を見据えた競争力強化につなげていく。

企業の評価・今後の関わり方

参加理由

- ・ コロナ禍によって業績が落ち込み、手を打ちたいと思っていたのが理由の一つです。また、会社は古くからの菓子屋のやり方を引きずっている部分も多いのですが、規模も大きくなりましたので、外部の視点を取り入れながら改善できればと考え、参加を決めました。

評価（成果・社内変化など）

- ・ 社員へのアンケートやヒアリングを通じて、貴重な意見を聞くことができました。社員にとっては、第三者だからこそ本音を話しやすかったのではないのでしょうか。社員の声を踏まえて工藤さんにいただいたアドバイスも参考になりました。
- ・ 課題を整理した上で、これからの中田屋に必要な経営戦略や組織体制について考えることができました。工藤さんの取り組みについては大変満足しています。人柄もよく、信頼できる方ですから、これからもいろいろと教えていただければと思っています。
- ・ 本プログラムは先行き不透明な今だからこそ有用です。コロナ禍の中、行き詰まりを感じている経営者にぜひおすすめしたいです。

今後の関わり方

- ・ プログラム終了後、工藤さんとは業務委託契約を結びます。私だけでなく社員からの人望も厚いですから、4月以降も引き続き当社と関わりを持っていただき、今回策定したビジョンの完遂を見届けていただきたいと考えています。

研究員の評価・今後の展望

参加理由

- ・ 本プログラムを知ったのはホームページがきっかけです。公的支援機関から企業に派遣される仕事に比べ、質・量ともに踏み込んだ支援ができる面白い企画だと思いましたし、今までにない経験ができて、自身の成長にもつながると考え、応募しました。

評価（取り組み・生活）

- ・ 課題の抽出はもちろんですが、やりがいと責任感を持って働いてもらうため、会社のことをしっかりと考える機会にしてほしいとの思いから、社員へのアンケートやヒアリングでは、問題点だけでなく、会社の良いところも挙げてもらいました。
- ・ どんな消費者層にどんな商品売っていくか、そのためにはどんな組織が必要なのかを考え、新たな視点を中田社長に提示できたことが収穫です。立案時には、マーケティングを専門とする同期の研究生の意見が参考になり、大学の先生も理論的な部分を補ってくれました。
- ・ 本プログラムへの参加を通じて、スキルが向上し、今後の活動の幅も広がると思います。金沢での多くの出会いも財産です。

今後の展望

- ・ 本プログラムをきっかけに、金沢大学大学院博士後期課程への進学を決め、引き続き埼玉との2拠点生活を送ります。もちろん中田屋さんとの関係も継続し、4月以降はこの半年間で着手できなかった長期的な課題に取り組みます。